

STEP

6

フタを開けましょう

1 センターバルブの圧力表示ピンが完全に下がっている位置(バルブキャップが下まで落ちた状態)にあるのを確認します。



2 安全ロックピンが完全に下がっている位置にあるのを確認します。



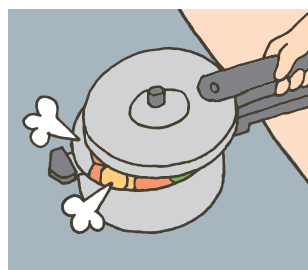
3 本体とフタの重なっているハンドルをもち、フタハンドルのプッシュボタンを押しながら▶Openの方向(反時計まわり)にわずかに動かして一旦止め、フタの隙間から蒸気が出ていないことを確認します。このとき、ハンドルの動きが重く感じられたり、シューっと蒸気が出るようでしたら、内部に圧力が残っていて危険です。無理に開けようとせず、左ページの手順で圧力を下げ、蒸気を出しきってください。



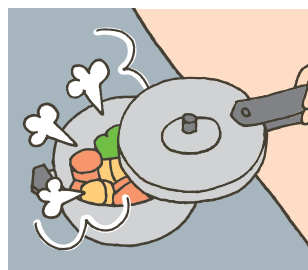
⚠ ハンドルは熱くなっている場合があります。ご注意ください。

⚠ プッシュボタンを押したとき、ハンドルの根元部分から蒸気が出る場合があります。ご注意ください。

4 △印の位置までフタを回して少し持ち上げ、手前にスライドさせて隙間を開け、蒸気を逃がします。



5 鍋の中から立ち上がる蒸気が手前にこないように注意して開けます。



!

火を止めた後も鍋の中には
圧力があります。
決して無理にフタを開けようと
しないでください。

圧力表示ピンが完全に下がったら力を入れずにフタを開けることができます。フタを開けるときの鍋の中に少しでも圧力が残っていると、フタが飛んだり、高温の内容物が噴出して、手や腕などにかかり、火傷を負う危険があります。フタは手順に従って開けてください。